

宮里拓、金城和が中学V

小学 宮里海(高学年)、佐渡山(高学年)制す

小中学生ゴルフ伊江島

【伊江】第1回ハイビス 伊江島大会(主催・伊江カスカップ小中学生ゴルフ村、共催・琉球新報社、伊江)

江島カントリークラブが23日、伊江島CC(中学生)・小学生高学年3109、小学生低学年2455、パー58で行

56で初の頂点に立った。中学生女子は1オーバー59の金城和歌奈(西崎中1年)が制した。

宮里、金城は2013年8月に北海道で開催される加森観光杯ジュニアゴルフへの出場権が与えられる。大会は昨年までの全国小中学生ゴルフから改称した。

小学生高学年男子は宮里海翔(天山小5年)が3オーバー61で優勝。同女子は8オーバー66で並んだ佐渡山理莉(大宮小6年)と仲田葵(琉大付属小6年)のプレーオフとなり、佐渡山が競り勝った。同低学年は高里由貴子(沖縄カトリック小3年)が優勝した。

「低く強い球」で風攻略

尻上がりに調子を上げた宮里拓(那覇中1年)が2位に4打差、唯一のアンダーパーで栄冠を手にした。奪った七つのバーディーは、この日好調だったショートアイアンでいずれも3打以内に寄せ、狙い通りのプレーができた。

バーディーのうち、六つが100ヤード前後のショートホール。「低く強い球を打つ練習をしてきた」と言う通り、強風に負けないボールでグリーンを捉えた。丁寧なプレーを心掛けたのも奏功し、前半をイーブンで折り返し、後半で2位以下を突き放した。見せ場は16、17番ホールの

奪う 7バーディー

連続バーディー。16番(156ヤ)はティショットで、17番(362ヤ)は2打目をピンそばに寄せてバーディーを奪い、思わず笑顔が漏れた。

6番でOBからダブルボギー、13番で3パットのボギーを出す場面もあったが、直後の7番、14番をバーディーとするなど「ミスがあっても気持ちの切り替えが早くできた。引きずらないのも良かった」とメンタルの強さも発揮した。

ジュニア大会で常に上位を争う宮里。今大会を弾みに「どんな大会でも上位に出て、全国大会で優勝できるよになりたい」と大きな目標を掲げた。



好調のショートアイアンを武器に唯一アンダーパーで回った宮里拓(23日、伊江島CC)

(金城潤)